

2016年12月12日

経済レポート

2016年10月の機械受注統計の結果

～ 民需(船舶・電力を除く)は前月比+4.1%と3か月ぶりに増加～

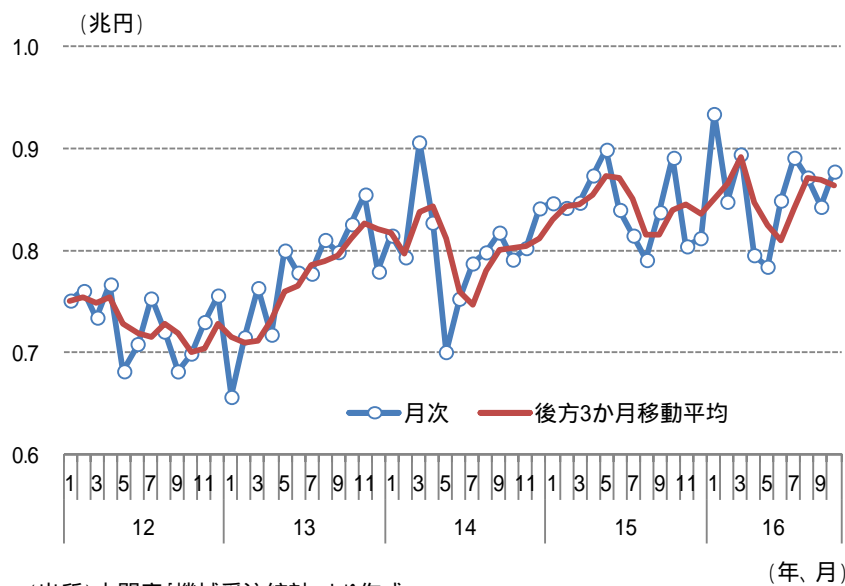
調査部 主任研究員 中田一良

10月の民需(船舶・電力を除く)の動向

機械受注統計の中で、設備投資の先行指標として注目される民需(船舶・電力を除く)は、10月は前月比+4.1%と3か月ぶりに増加し、均してみると横ばい圏で推移している(図表1)。

製造業は前月比-1.4%と3か月連続で減少した一方、非製造業(船舶・電力を除く)は同+4.6%と3か月ぶりに増加した。

図表1 民需(船舶・電力を除く)の推移



(出所)内閣府「機械受注統計」より作成

(年、月)

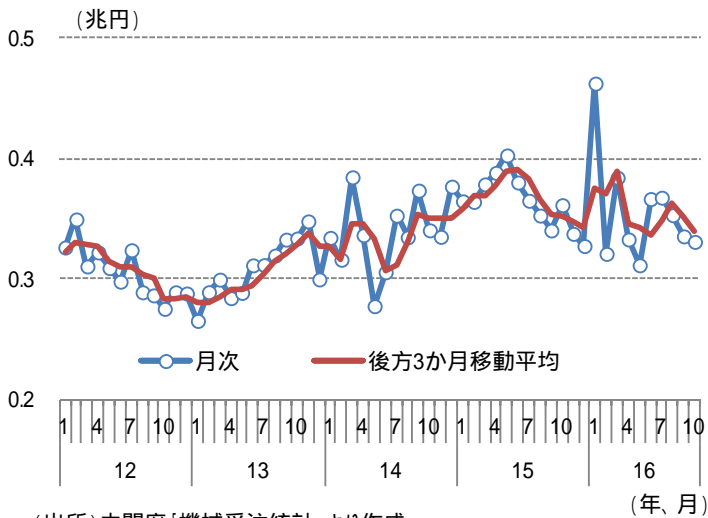
業種別の動向

製造業からの受注は、夏場に持ち直しの動きがみられるようになっていたが、このところ弱い動きとなっている(図表2)。10月の動向を業種別にみると、石油製品・石炭製品は前月比+333.0%、金属製品は同+59.2%、化学工業は同+57.3%と増加した。他方、9月に大幅に増加した非鉄金属は前月比-69.6%、電気機械は同-26.2%、はん用・生産用機械は同-11.2%と減少した。

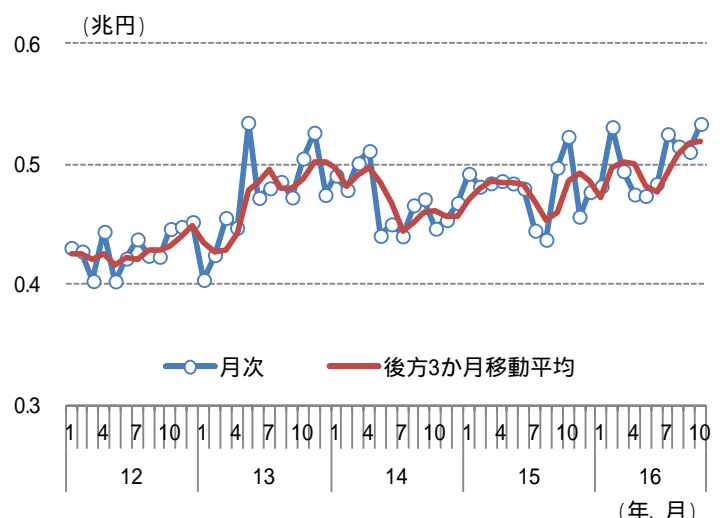
非製造業(船舶・電力を除く)からの受注は、持ち直している(図表3)。10月の動向を業種別にみると、増加傾向にある運輸業・郵便業は前月比 - 38.2%と3か月ぶりに減少したほか、このところ前月比で増加が続いていた卸売業・小売業と建設業は、それぞれ同 - 28.8%、同 - 15.3%と減少した。他方、「その他非製造業」は前月比 + 56.0%、農林漁業は同 + 26.7%、通信業は同 + 13.4%と増加した。

図表2 製造業の推移

図表3 非製造業(船舶・電力を除く)の推移



(出所)内閣府「機械受注統計」より作成



(出所)内閣府「機械受注統計」より作成

外需他の動向

外需は、10月は前月比 + 1.9%と3か月連続で増加し、下げ止まっている。10月の外需の機種別受注の前年同月比をみると、船舶は大幅な減少が続いている一方、電子・通信機械と重電機は増加が続いている。

最終需要者が不明である代理店経由の受注は、中小企業の設備投資の動向を表している可能性があると考えられているが、10月は前月比 - 8.4%と2か月ぶりに減少した。2016年度に入って持ち直してきていた代理店経由の受注は、このところ高水準を維持しているものの、横ばい圏で推移している。

ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。